

日塗工 整理No.(日塗工記入)		2016-49		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2016年 8月22日(月) 10時30分 天候(雨) 温度(℃)湿度(%)			
災害区分		○不休災害 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	生産一部 生産一課		雇用形態 ○正社員 、派遣、契約、その他()	
	年齢	32歳	性別: ○男 、女	勤続年数 13年4か月	経験年数 13年4か月
	傷病名	病名 薬傷			
	傷病部位	顔面			
災害発生状況	・滴下ポンプの作動に不具合があり、分解して点検を実施した。 ・異常が見られず、作動不良の要因がエア巻き込みであると考え純水を用いてエア抜きを実施。 ・作動が回復したため、ホースを接続しようとしたがポンプを停止せず稼働状態で行ったため、出口へのホース接続で圧がかかり、入口ホースに残存していたモノマー(MAA水溶液)が飛散し、顔面にかかった。 ・保護メガネの着用により眼への混入は防げたが保護メガネ周辺(顔面左側の涙袋、鼻頭、頬に約5cm ² の薬傷が生じた。 ・トラブル対応のため、生産一課長、係長及び担当の3名で作業を行っており、課長:少し離れた場所でポンプ停止を指示 係長:課長の声が聞こえず、洗浄作業の継続を指示 担当:不思議に思いながら、係長指示に従うと意思疎通に欠けていた。			状況概略(写真orイラスト) 	
	災害の型※1)			8. 有害物との接触	
	起因物: 滴下ポンプ及びホース			作業の形態:定常 、 ○非定常、 その他()	
				特記事項:特になし	
原因分類	1.人的要因(man)				
	非定常作業で不慣れであった。				
	2.物に関する要因(machine)				
	前週に原材料に異物があり滴下ポンプが詰まる事象が発生していた。				
対策	3.環境要因(media)				
	試作のための少量生産であり、普段用いない滴下ポンプを使用していた。				
	4.管理的要因(management)				
	共同作業での連携不足				
対策	・上記のようにこの設備は一時的に使用しており、実際の生産にはこのタイプは用いない。 ・ただし、今後も別の用途で使用する可能性があるので非定常作業時の手順を設定した。 ・使用原材料の危険性を周知徹底し、同様な原材料を用いる時はフルフェイス保護面を着用、同時に劇物使用ラインの点検時には合わせて防毒マスクを着用することを義務付けた。 ・ポンプ運転のマニュアル整備、4M変化時のリスト登録、危険源リスク評価一覧表、危険有害な作業行動一覧表も見直した。				
	対策分類※2): 1-2、1-3、1-5、1-6、2-1、2-4、2-6				

※1) ①から選択 ※2) ②から選択(複数可)